

Magnet Analyzer マグネットアナライザ

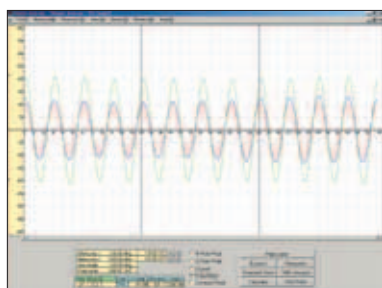
進歩した自動解析技術

MA-7115

マグネットの着磁評価に



写真はMA-7115



計測波形表示例

概要

本装置は、着磁された円筒状のマグネット（主としてモータのロータまたはステータ）の表面をガウスメータにより測定を行い、着磁状態を評価する装置です。

解析データは、測定した各極のピーク値の最大値、最小値、平均値のほか、各極の角度、面積等を数値として表示し、またX軸を角度 (Deg)、Y軸を磁束密度 (Tesra) とする2次元表示とX軸を角度 (Deg)、Y軸を回転軸方向の位置、Z軸を磁束密度 (Tesra) とする3次元表示のグラフ表示を行います。

特長

- 1 着磁されたマグネットの表面磁束密度をプローブにより測定し、評価
- 2 ガウスメータとホールプローブは、3軸方向の測定に対応しているためX、Y、Z方向の磁束密度評価が同時に可能 (MA-7315のみ)
- 3 測定データはCSV形式で出力されるため、汎用表計算ソフトに取り込みが可能
- 4 円筒評価用と平面評価用の2種類があります。

仕様

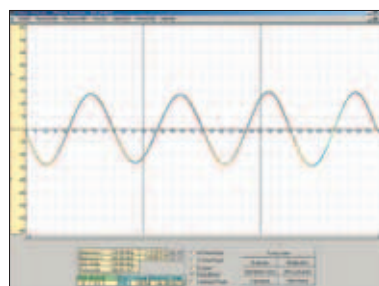
計測処理装置部	MA-7105	MA-7115	MA-7315
ガウスメータ	GM-5005S		GM-5307S
測定入力	1ch		3ch
コンピュータ	PC/AT 互換機		
OS	Windows XP Professional		
AD変換分解能	12bit		
添付ソフト	Microsoft Office Personal		
モニタ	1024×768以上推奨		
プリンタ	カラーインクジェットプリンタ (オプション)		
電源入力	AC100V~AC240V 50/60Hz		

円筒磁界測定部	MA-7105	MA-7115	MA-7315
ワーク固定	3爪スクロールチャック		
測定可能寸法	BS製爪 φ2mm~φ42mm SS製爪 φ42mm~φ100mm 但し、外径		
回転駆動	スピードコントロールモータ		
回転方向分解能	25000P/R		
上下移動範囲	100mm (手動)	200mm (自動)	
外形寸法 (mm)・質量	400W×600H×300D 約38kg	400W×750H×400D 約45kg	

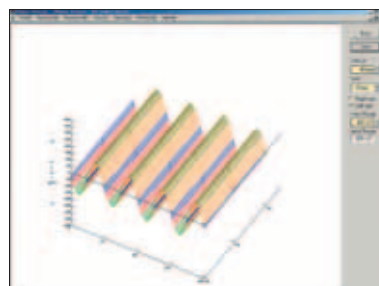
※平面磁界測定部は特注機になります。

専用アナライザ

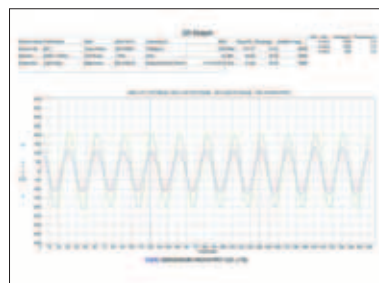
更なる高分解能を求めて



測定画面表示例1



測定画面表示例2



2次元グラフ印刷例

概要

磁気パルサーリング、磁気式エンコーダなど微小ピッチの評価に最適です。

特長

- 1 シーケンサ制御により、測定開始から測定終了後のOK、NGの判定まで全て自動処理
- 2 ジョイスティックにより位置決め設定可能
- 3 測定時のプローブ移動はPC側で制御
- 4 プローブの位置決めは最小0.1mmピッチで設定可能
- 5 PC画面表示項目
状態表示:測定中、待機中、操作中、異常
ワークカウント:測定数、OK数、NG数
結果表示:極ピーク、極幅、極位相差の最大・最小
- 6 PC、ガウスメータの仕様は標準品に準じます。
- 7 回転方向分解能は50,000~1,200,000P/Rに対応可能

※上記は専用機仕様の一例です。詳細はお打合せにより決定いたします。